



長迫の丘だより

令和5年6月15日
長迫小学校通信No.5
校長 高尾 千草



大雨に備えて～「自分の命は自分で守る」～

6月には、「水無月（みなづき）」という言い方があります。これは、5月に田植えが終わり、田んぼに水を引く時期であることが由来となっています。「無」は、「無し」ではなく、助詞の「の」という意味なのだそうです。水は我々の生活に欠かせないものですが、大きな災害も引き起こします。出水期に向けて、備えをしておきたいものです。

さて、西校舎に向かう渡り廊下に紫陽花の花が咲いています。一昨年、フェンス工事で花壇を撤去した際、そこに咲いていた紫陽花をこちらに移植したものです。現在、たくさんの花をつけ、私たちの目を楽しませてくれています。場所が変わっても根を下ろし、置かれたところで精一杯花を咲かすことの大切さを改めて感じているところです。

出水期に向けての取組～「いざというとき、できるように！」～



6月に入り、出水期（集中豪雨や台風などで川が増水しやすい時期）に入りました。

災害に対する備えは、当然のことながら「災害が起こる前」にしておかなければなりません。学校でも、平成30年の豪雨災害を教訓にして、雨樋や側溝などの点検・清掃をしたり、各学年に位置付けた防災教育を進めたりしているところです。今年度の防災教育は、「行動できる」ことが大きな目標です。「自分の命は自分で守る」ためにも、学んだ知識をいざというときに使えるかどうかを試されます。

①土砂災害携帯マニュアル(長迫小版)の配布

児童には、ランドセルの中に土砂災害携帯マニュアル(長迫小版)を入れておくよう指導しております。「警戒レベルと避難行動」、「土砂災害・気象に関する情報を得る方法」等、いざというとき役立つ内容が掲載されています。ご家庭でも、避難場所や避難経路、避難のタイミングなど、お子様と話し合ってみてください。



携帯マニュアル、ランドセルに入っていますか？

②引き渡し訓練の実施～ご協力ありがとうございました！～

引き渡し訓練を行いました。当日は、朝から雨が激しく降り、緊張感をもちながらの訓練でした。開始から約1時間で、全児童を引き渡すことができました。

お願いですが、「保護者引き渡しカード」に変更がある場合は必ず、お知らせください。



③出前授業～参観日で防災学習・「ひろしまマイ・タイムライン」～

本校では、初めてタイムラインに触れる1年生、高学年版のタイムラインに変わる4年生が、「ひろしま防災出前講座」を保護者と一緒に受講することにしています。学校だけの学びに終わらないように、また、いざというときに実際に行動できるように、学びを家庭にも広げたいからです。

4年生はAIロボット「Pepper」君に、1年生は防災講師に、「ひろしまマイ・タイムライン」の作成の仕方を教えてもらいました。住んでいる所の危険性、避難の仕方などを知ることは、自分の命を守ることに繋がります。繰り返しの学習が大切です。

〈感想から〉

- *「警戒レベル3」では、おじいちゃん、おばあちゃんが避難することがわかった。私の家は、「レベル4」で避難します。
- *避難するときには、水や保存食等の食料だけでなく、軍手や懐中電灯なども必要だということが分かった。家によって必要なものも違うことも分かった。



サンフレッチェオリジナルキャップをいただきました！ありがとうございます！

昨年度に続き、サンフレッチェ広島様より、1年生にサンフレッチェ広島オリジナルキャップをいただきました。ありがとうございました。地域貢献活動の一環で、県内の1年生全員に配られているのだそうです。早速、キャップをかぶって「はい、ポーズ！」感謝の気持ちを伝えようと、御礼のお手紙を届けました。



似合ってるかな？ 心を込めて書きました！

租税教室～税の大切さを知る～

6年生が、呉市法人会 内野様を講師にお迎えし、租税教室を行いました。内野様には、税金の種類や使われ方など具体的な例を出しながら、税金が身近な物になるようわかりやすく説明していただきました。税金は私達が安心・安全に生活していくために使われていることを学びました。



防災ダック～命を守る！～

1年生が、地域の民生児童委員の皆様と社会福祉協議会のご協力により「防災ダック」の学習をしました。地震のときは両手を頭にのせながらかみこむ「ダック」、火事の際は両手を口にあてる「タヌキ」、道を渡るときは右左を見る「ネズミ」のポーズなど、実際に体を動かして確認しました。



応急手当～冷静さが かし！～

5年生が、呉市西消防署からゲストティーチャーに来ていただき、「応急手当」について学びました。応急手当には、「救命」「悪化防止」「苦痛の軽減」と3つの目的があるそうです。目の前で苦しんでいる人を見るとパニックになってしまいそうですが、正しい知識を身に付けることで、冷静になり、命を救う行動がとれることを学びました。



お願い～不審者に出会ったら「いかのおすし」～

児童には不審者から身を守るために、「いかのおすし」（「ついていかない」「車にのらない」「おおごえでさけぶ」「すぐにげる」「近くの大人にしらせる」）を指導しています。ご家庭でお子さんが不審者にあった場合、早期解決するようすぐに「警察」へ連絡してください。

